

IASB の動向 (2017年11月～2018年1月)

ASBJ 専門研究員 かじた ゆきひろ
梶田 幸裕

I. 基準等の公表

IASB が IFRS 基準の年次改善を公表 (2017年12月12日)

国際会計基準審議会 (IASB) は、「IFRS 基準の年次改善 2015-2017年サイクル」を公表した。これは、4つの IFRS 基準の狭い範囲の修正を行うものである。

年次改善は、IASB の IFRS 基準の維持管理のためのプロセスの一部であり、軽微又は範囲の狭い解釈を含んでいる。

このプロセスの一部として行われる修正は、IFRS 基準の文言の明確化又は比較的軽微な見落し若しくは IFRS 基準の既存の要求事項の間の矛盾点の訂正のいずれかである。

2015-2017年サイクルの間に行われた修正は、下記のとおりである。

修正された基準	修正による明確化の内容
IFRS 第3号「企業結合」	企業は、事業に対する支配を獲得した時に、共同支配事業に対して従来保有していた持分を再測定する。
IFRS 第11号「共同支配の取決め」	企業は、事業に対する共同支配を獲得した時に、共同支配事業に対して従来保有していた持分を再測定しない。

IAS 第12号「法人所得税」	企業は、配当支払の法人所得税への影響のすべてを同じ方法で会計処理する。
IAS 第23号「借入コスト」	企業は、当初はある資産を開発するために行った借入を、当該資産について意図された使用又は販売の準備ができた時点で、一般借入の一部として扱う。

この修正は2019年1月1日から適用され、早期適用が認められている。

詳細については、本誌71頁の「IASB『IFRS 基準の年次改善』(2015-2017年サイクル)の概要」を参照いただきたい。

II. IFRS 財団関連のプレスリリース

1. IFRS 財団が2018年にオフィスを移転 (2017年12月6日)

IFRS 財団は、現在のオフィスの賃貸借契約の期限が終了する2018年の夏に、オフィスをロンドンのカナリー・ワーフに移転する予定である。この移転の決定は、コスト効率と将来の組織のニーズの充足との間の適切なバランスを図る必要性があることを反映している。

2. IFRS 財団が 7 名の新たな評議員を選任 (2017 年 12 月 14 日)

IFRS 財団は、7 名の新たな評議員を任命した。現在の議長である Michel Prada 氏は、後任がポストに就くまで、副議長である Sheila Fraser 氏と佐藤隆文氏とともにその地位を継続する。

IFRS 財団評議員会は、IFRS 基準を設定する IASB のガバナンス及び監督機関である。

新たな評議員は次のとおりであり、2018 年 1 月 1 日から始まる 3 年間を任期としている。

氏名	経歴
Dame Colette Bowe 氏	Chairman of the UK Banking Standards Board; board member of the UK Statistics Authority; trustee and chairman of the audit committee of the Nuffield Foundation
Larry Leva 氏	Global vice-chairman for quality, risk and regulatory at KPMG International
Michel Madelain 氏	Current vice chairman and former president of Moody's Investors Service; former partner of EY in France
Ross McInnes 氏	Chairman of the board of Safran; non-executive director and chair of the audit committee at Eutelsat; non-executive director at Lectra
Vinod Rai 氏	Former comptroller and auditor general of India; former chairman of the UN Panel of External Auditors
Lucrezia Reichlin 氏	Professor of economics at London Business School; former director general of research at the European Central Bank; non-executive director of several financial companies

Teresa Ko 氏	China chairman and partner of Freshfields Bruckhaus Deringer; non-executive director of the Securities and Futures Commission of Hong Kong
-------------	--

Prada 氏は、2012 年 1 月 1 日から評議員の議長を務め、2017 年の末に評議員から引退する予定であったが、後任の決定に予想よりも長くかかることから、選任プロセスが完了するまで議長職にとどまることに同意した。

2017 年 11 月 7 日～9 日にブラジルで開催されたトラスティー会議では、評議員は、Prada 氏の任期延長と後任の任命の保留を満場一致で合意した。

Sheila Fraser 氏の副議長としての任期は 2019 年 12 月まで延長され、また、2017 年の末に Ronald Arculli 氏が評議委員を退任した後、佐藤隆文氏が 2018 年 1 月 1 日から第 2 副議長を務める。

評議員会と公的機関との間の正式な関係を提供し、評議員会が説明責任を負うモニタリング・ボードは、プラダ氏の任期を延長する評議員会の決定を支持する。モニタリング・ボードはまた、評議員会の任命を承認した。

Ⅲ. IASB 会議、IFRS 解釈指針委員会

IASB の会議は、ロンドンの IASB 本部で以下のとおり開催された。

- 通常会議 (2017 年 11 月 14 日)
- 通常会議 (2017 年 12 月 13 日、14 日)
- 通常会議 (2018 年 1 月 24 日、25 日)

また、IFRS 解釈指針委員会の会議は、2017 年 11 月 20 日及び 2018 年 1 月 16 日に開催された。なお、2017 年 11 月 20 日の会議はロンドンの IASB 本部で、2018 年 1 月 16 日の会議は

ビデオ会議にて開催された（詳細については、本誌 87 頁の「2017 年 11 月及び 2018 年 1 月の IFRS 解釈指針委員会会議における議論の状況」を参照いただきたい。）。

IV. その他の IASB 関連会議

- 2017 年 11 月 7 日 IFRS 財団トラスティー会議（サンパウロ）
- 2017 年 11 月 13 日 IFRS 第 17 号の移行リソース・グループ（TRG）会議（電話会議）
- 2017 年 12 月 4 日～6 日 新興経済グループ（EEG）会議（サンパウロ）
- 2017 年 12 月 7 日、8 日 会計基準アドバイザリー・フォーラム（ASAF）会議（ロンドン）（詳細については、本誌 52 頁の「2017 年 12 月開催 ASAF 会議報告」を参照いただきたい。）
- 2018 年 1 月 30 日 IFRS 財団トラスティー会議（香港）